

令和6年度勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制整備計画評価

	目標	取り組み	評価	達成度
1	医師事務作業補助体制の強化	①医師事務作業補助体制加算1（配置基準20：1）の継続するための配置人員の確保	実施。来年度も引き続き行う。	100%
		②医師向けに、医師事務作業補助者の業務の拡大や掘り起こし、現状の満足度に関するアンケート形式での調査実施	実施。来年度も引き続き行う。	
2	短時間正規雇用の医師の活用について	①育児短時間勤務制度は策定済。今後も制度の周知や啓発を行い認知度を高めていく。	実施。来年度も引き続き行う。 令和6年度取得者1名	100%
3	当直・夜間業務への配慮について	医師の当直・夜間業務の翌日に平日振替休日制度の実施	実施。来年度も引き続き行う。 全体の取得率（振替取得回数/当直回数）は79.8%であったが、診療科ごとや医師ごとの取得率にばらつきがあり、今後も取得を啓発していく	80%

職種間および業務横断的かつ継続的な取り組みについて

職種	項目	継続的な取り組み内容
看護師・医師事務作業補助者	初診時の予診の実施	医師の指示に基づいて病院で事前に定めた様式を用い、初診患者が記載した問診表の内容や持参した紹介状の内容を、医師事務作業補助者や看護師が電子カルテに入力している。
看護師・臨床検査技師	静脈血採血の実施	病棟における静脈血採血を看護師が実施。また外来においては看護師のみでなく令和7年4月から臨床検査技師が中央処置室にて静脈血採血を実施できるよう人員確保と職員教育を行った。
看護師・医療事務員 ・管理栄養士・MSW 他	入院の説明の実施	令和6年に入院支援室を設置。予定入院患者に看護師が説明を行っている。必要時には管理栄養士やMSWも参加する。
看護師・外来クラーク ・医師事務作業補助者	検査手順の説明の実施	医師の指示に基づき、看護師・外来クラーク・医師事務作業補助者が、検査の流れや検査室等の案内を行う。
薬剤師	処方支援の実施	入院患者の持参薬、退院時処方、中止箋等を医師に指示に基づき代行入力を行う。 また外来患者においては、調剤薬局の疑義照会を対応し、医師の指示に基づいて修正処方の代行入力を行っている。
診療放射線技師	手術室における診療支援の実施	整形外科手術後のX線撮影を手術室にて実施。医師が手術部位の術後の状況をリアルタイムに確認できる。